

## 2022年度 第1回森と水の源流館 授業づくりセミナー 概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

- ◇開催日時 2022年6月25日(土) 10時～12時
- ◇開催方法 ZOOMによるオンラインセミナー
- ◇参加者 中澤宏太(郡山西中)、新宮・村上・奥戸(平城小)、和田良隆(財務省主税局)、塚本(環境省近畿地方事務所)、加藤(川上村水源地課)、原孝博(奈良学園)、土橋・西祥吾(紀の川市立田中小)、中本篤志(田原本小)、中谷栄作(あやの台小)、島俊彦(吉野小)
- 森と水の源流館：尾上・古山・成瀬・上西・
- 奈良教育大学：東晃太郎・澤井咲樹・杉村若葉(学生)、杉山・大西・中澤
- 計23名

### ◇内容

#### 【尾上事務局長】

##### 源流館の紹介

- ・「地域資源の教材化」にこだわって進めている。テーマは「水の恵み」
- ・川上村は紀ノ川、吉野川の源流域にあたる。
- ・川上村は広いが、その95%は山林が占めている
- ・人口は、昭和34年より人口減少 現在は、1313人
- ・昭和34年にあったのが伊勢湾対分
- ・大滝ダム(発電)と大迫ダム(農業用水)
- ・大迫ダムからの水が吉野川分水にながれている
- ・3つ目のダム 自然のダム 水源地の森 吉野林業が始まった地域
- ・土倉庄三郎—吉野林業
- ・川上宣言(水源地の村づくり)1996年～ 川上宣言×SDGs 川上村のライフスタイル SDGs達成へ自分たちができることを考える上で、川上宣言は参考になる。
- ・現実的な問題 バーベキューにともなうゴミの散乱  
「しないでください」①火気の使用、②ゴミの放置、③水を汚す行為
- ・源流館20周年 館内展示のリニューアル  
森と水の源流館の入り口に記された「川上宣言」  
フルボ酸鉄 「落ち葉から海へプレゼント」  
発問を重視した展示 「ありがとう」って、だれからだれに伝える言葉? 「おかげ」  
私にできることって何だろう?

#### 【成瀬さん】

- ・宮の平遺跡 発掘調査「源流の社：丹生川上神社上社」 水の神様  
自分たちの校区にある神社と「水の恵み」とのかかわりがあるかも  
山口神社

#### 【上西さん】

- ・木と水と人の共生
- ・天然林と人工林 川上宣言とSDGs

- ・川上村の森の歴史 土倉庄三郎の取り組み 100年先を見ていた  
持続可能な吉野林業から学ぶ社会を持続可能にするためのシステム
- ・ユネスコエコパークと川上村  
エコパーク：利活用しながら保全する 川上村の人々のライフスタイル  
イタドリ 食べることで繁殖を防いでいた

### 【古山さん】

#### 里のフィールド体験

- ・一本の木に住んでいる昆虫 40種類
- ・昆虫は身体が仕事の道具になっている
- ・身近なものを調べる楽しさ、観察の重要性
- ・昆虫は環境そのものでもある。昆虫の状況を把握することが地域の自然環境を把握することになる

#### 村上先生から

- ・秋篠川・音無川 の調査から「祭り」に着目させたい  
山の神の祠 1月・6月・12月（スタッフの上西さん）  
水神のまつり 七夕灯籠祭 伝統的な祭りだけでなく（スタッフの成瀬さん）  
源流まつり 流域まつり（水源地課の加藤さんにアプローチを）

#### 中谷先生から

- ・アーケレンジャー登録をめざして
- ・月1回のゴミ拾い（体験的な学びの重要性）
- ・森最高、海最高 というプラス面からアプローチした環境教育  
流域まるごとプロジェクト の活性化・実現化

#### 奥戸先生から

- ・魅力リーフレットづくり（中谷先生のアプローチが参考に）
- ・教材になるものをつくっては（尾上事務局長にアプローチを）